



Vol.17~~2011.10

はじめまして。今月号からは、前責任者の大江さんと笹原さんからメルマガ委員を引き継いだ 56 期の松尾と堀がお送りすることになりました。ワンダーフォーゲル部に入部してはや半年が過ぎ、私たち 1 回生もそろそろこの部の一員としての仕事を任せられるようになったことに喜びを覚えつつ、先輩方と同じようなことが果たしてできるようになるのだろうかというプレッシャーもひしひしと感じています。拙い出来かもしれませんが、これからは私たちが部の活動をお伝えしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

さて、今回は夏休み中に行われた夏合宿と夏 PW の報告をお届けしたいと思ひます。

== Index=====

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| ■夏合宿  | ～今年はとことんツイてないな…～        |
| ■夏PW  | ～御嶽爆発しろ！（by イカダ Party）～ |
| ■部員紹介 | ★55 期次期 Leaders★        |

=====

■—————■

2011/8/27～9/3 夏合宿  
～今年はとことんツイてないな…～

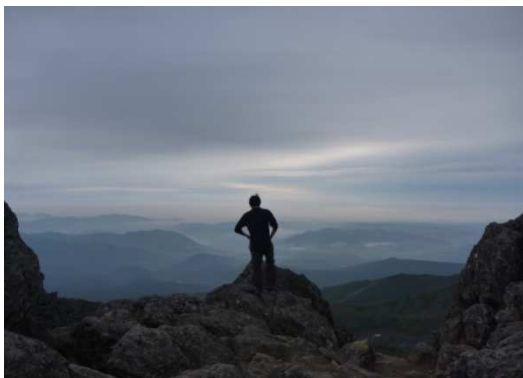
■—————■

今年の夏合宿では 1, 2Party は大雪山、3, 4Party は赤石岳に行きました。出発前に発生した台風が原因で、全 Party が途中で下山するという残念な結果に終わりましたが、1 回生にとっては初めての練成でない合宿なので楽しめました。3, 4Party は天気が悪くなる前に下山しましたが、1, 2Party は大雨の中を、それも水が大量に流れている登山道を歩いたので、川を歩いているかのような感覚を受けました。ある意味では二度とできない経験かもしれない、また一度経験しておく、これ以上のものには遭遇しないだろうと前向きに考えることにして何とか乗り切りました。

(文責：堀)

台風が近づいてきて、最後は天気恵まれず休養日の翌日に下山することになってしまいました。でも休養日までは天気もよく北海道の雄大な自然を堪能することもでき、休養日のスペシャルがどれもおいしかったです。登山の楽しさを知ることができました。

(工 56期 出口亮)



大雪山は今までのアルプスなどの山々とはまた違う山で、面白かったです。まずスケールが広大で、どこまでも道や山々が見えている風景は歩いていて楽しかったです。また、森林限界が高度の低いところから来て歩きやすく、雪溪や沼などもあり山行は飽きませんでした。岩だらけの道もあり、ナキウサギなどもいて、そこ

も面白かったです。台風により途中下山し、下山の日は濁流の中を下る大変な山行となりましたが、あれはあれで普段体験できない面白い経験でした（面白いと思ったのは最初だけでしたが…）。また下山後橋が通行止めで行き場のなかった僕たちを、本来台風のため営業していなかった天人峡温泉の方々が泊めて下さり、さらにカレーまで出していただいて、その優しさ、ありがたさに胸が一杯になりました。途中下山という結果になってしまいましたが、総じて今までと一風違った山行ができて良かったです。

(理 55期 市川智輝)

北海道には二年前にも行ったのですが残念ながら旭岳には行くことができず、今年こそはという気持ちで北海道に挑みました。しかしながら台風の影響により今年も旭岳を断念するという結果に終わりました。これでワングルとしての夏合宿は終わりですが、1・2回生も天候が良くない中、北海道の自然を味わってくれていたように思えて満足しています。また機会があれば他の北海道の山にも行ってみたいと思います。

(基 54期 坊ヶ内渉)

---

## 赤石岳

---

0泊目のサイト地ではパラパラと雨が降り出していたので、合宿中雨に打たれ続けそのまま途中下山という事にならないかと内心ヒヤヒヤしながら UNO をしていました。しかし赤石小屋までの道でも降られず、赤石岳へのピストンでは富士山が見えるほど綺麗に晴れてくれました。下界では思い切り降られましたが……。あと行きのバスはしんどかったです。たしかに日数としては物足りないものがありましたが、台風が来ているという状況の中であれほど気持ちの良い山行ができた事自体運が良かったと思うので、自分はそのなりに満足しています。

(工 56期 平井皓基)

富士山を肉眼で視認する、それが自分にとって非常に大きな目標でした。とても簡単なことで、登山者にとっては見たことがあって当然の様な感じすらします。しかしだからこそ登山者としてささいな劣等感を抱き、早く達成したいと思っていたのです。山岳部出身とはいえ、なにしろ田舎の進学校で顧問が忙しかったこともあり、アルプスなどの高山に登ったことも関東圏に行ったこともなかったのです。赤石岳から見えた富士山は目標を満足させるに十分過ぎるものでした。今まで写真でしか見ることができなかったがために非現実的にすら感じたあの対称的な美しさを持つ富士山の姿。実物をこの目で見ることで、確かにこのような幻想的なものが存在するのだなと深く感心しました。そして富士山の存在感は噂通り強烈で、その存在の不動性を新たに植え付けられました。



今となっては、富士山を見てないなんて些細なことを気にして、大したことのない目標を持っていたなと思います。でも結果的に得られたこの感動は一生の思い出になりそうです。そう考えれば人生の目標なんて小さなこと、些細なこと、ありふれたことでもいいのかな、と思えるのです。

(基 55期 瀧澤洸)

---

2011/9/17～19 夏PW

～御嶽爆発しろ！ (by イカダ Party) ～

---

今年は山合宿(御嶽山)と3年連続の四万十川イカダ合宿とが企画として出されました。僕は病気のために夏合宿に参加できなかった不完全燃焼感を夏PWにぶつけようとイカダ合宿に参加しましたが、高知県にはまたもや台風が接近しており、イカダ自体は組み立てたものの結局川に出ることは叶わず、一度も清流四万十の本当の姿を見ることはできませんでした(泣)。しかし山Partyは初日こそ天候に恵まれなかったものの、山行時には天気は回復し、最高の御嶽山の絶景を楽しめたようです。ちなみに上のタイトルは、イカダ合宿に参加したメンバーの悲痛な叫びを引用したものです…。イカダの感想は省略しますが、御嶽山の皆からは楽しい感想が届いています。

(文責：松尾)

---

## 御嶽山

---

リーダーさんから今回の合宿は雨になるだろうと聞かされ、0泊では今まで体験した事のない豪雨に見舞われ、この合宿では死人が出るな……と思っていた時期が私にもありました。しかし1日目にまさかの晴天スタートとなり、なんとそのままの天気で合宿を終えられたのです。ライチョウの親子やブロッケン現象、雲海やメツチェンなどなど今まで無かったことばかりで、本当に来て良かったと感じました。



思えば、雨になると聞かされた後、合宿を決行するかどうかのアンケートで全員が行きたいと書いたことに、山の神様のご褒美をくれたのかもしれませんが。あと、イカダは途中で終わってお気の毒ですが、御嶽を恨まないでくださいね。

(理 56期 河相圭亮)



夏合宿が途中で中止になってしまったため、物足りなさを感じ、無理いって参加させていただきました。途中参加を許してくださったリーダーさん、ありがとうございます。本当に最高の合宿でした。初日の0泊で豪雨だったにも関わらず、次の日からは快晴となり、ライチョウを愛で、火口湖を楽しみ、新しい山小屋でおいしいご飯を食べ、日が沈むのを見て感傷にひたり、気がつくとならば撮った写真の枚数が夏合宿の2倍になっていました。夜に星を見ながら、来週から大学の授業が始まるんだな……と思うと切ない気持ちでいっぱいになりました。

(基 55期 五十嵐尋)

合宿前は台風が二つも近付いており、夏合宿に続きPWも天気が悪いのかと思われたが、実際行ってみると、山の上は晴れで運に恵まれた。今年の夏合宿は台風で短縮したがその物足りなさを補うには十分だった。メンバーもPWを楽しんでおり、リーダーも満足できた合宿であった。今年の夏休みのいい思い出作りになってよかったと思う。

(工 54期 馬庭泰介)

部員紹介  
★55 期次期 Leaders★

今月号から 55 期次期 Leaders の紹介を毎号していきます。皆さん個性溢れる楽しい人ばかりです。今回は 3 人紹介します。



・野田英明

次期主将を務められる野田さんは責任感が強く、まさにワングルのまとめ役です。後輩の面倒見もよく、部室に夜遅くまで残っているとご飯に連れて行ってもらえることも多いです。いわく「先輩はメシをオゴるための存在と思ったらええで」とのこと。野田さんといえば食当、食当といえば野田さん、と言っていいほど食当のイメージが強い野田さんの作る食事はとても美味しく、食べると元気になります。野田さんは、先輩後輩問わず頼られていて、そして山を愛している先輩です。

・市川智輝

数々の名言を残し皆からは「大先生」と呼ばれている市川さん。大食いにはかなりの自信があるようで、回転寿司での大食い競争では 55 期の中で優勝したことも。ゲームが好きだそうで、「ぷよぷよ」では屈指の強さを誇るとか。市川さんが同じパーティにいれば「大先生ならなんとかしてくれる」となんとも言えない安心感が漂います。そんな楽しい市川さんは来期から 55 期ワングル副主将を務められます。



・瀧澤洸

相撲部と兼部しているほど相撲をこよなく愛している瀧澤さんはワングルのムードメーカーです。食事に関して彼は、「お腹がいっぱいになるまでが食事で、そこからは稽古だ!」とのこと。生物工学を専攻しており、実験用のマウスの飼育という謎のバイトもこなしています。責任感が強く、また山に関する知識も豊富でとても頼りがいのある先輩です。

---

さて、先月号のアンケートは『心に残る係の仕事は?』でしたが、たくさんのご返信ありがとうございました。自分もつい最近から係の仕事に就き始めたので大変さがすごくよく伝わってきました。気象はある種の専門職なのでその分野につれて詳しくなったことが楽しかったとか、名(迷?)食当の作るカラーご飯だとか、とても楽しく読ませて頂きました。質問のあった『霧』は今でも部室にありますよ。「成田エクセレント」、楽しく読ませて頂きました。『霧』の存在は今回質問があつて初めて知りました。この部が長い伝統を引き継いでいるということが改めて分かりました。ありがとうございました。

次回のアンケートは『夏合宿の思い出は?』です。よろしくお願ひします。

アンケートページ↓

◀ <http://www.ouvv.org/enquete/enqform1110.html> ▶

WATARIDORI 通信 10月号はいかがでしたでしょうか。ギャラリーページにも写真をたくさん載せましたので、こちらもお楽しみください。

ギャラリーページ↓

◀ <http://www.ouvv.org/mailmagazine/gallery1110.html> ▶

12月号では山小屋W、秋合宿とL養Iの様子をお届けします。秋合宿は屋久島、チャリ(しまなみ、四万十)、鹿児島24時間耐久ロード(?)の4つが企画として出されており、とてもボリュームのある内容をお届けできそうです。ご期待下さい。

メルマガ委員：松尾勇汰、堀裕貴